

全学FD/SD研修会 実施報告 ～DXと大学教育～

教育支援研究開発センターは、本学の教育の質に関する取組の一環として、全学的なFD/SDを推進するための研修会・ワークショップを開催しています。本号では、本学でのDXに対する知識向上と今後の取り組みを進めるため「DXと大学教育－アフターコロナ時代の在り方－」をテーマとした第1回全学FD/SD研修会、新任教員を対象に本学の教育の特色や学生の特徴を理解していただくこと等を目的に「教員－学生間の授業に関する対話」をテーマとした令和6年度新任教員研修会について報告します。

また、教育支援研究開発センターには、グローバルコモンズに拠点を置くグローバルコモンズ・学生ボランティアスタッフ「LINK」があり、この団体について紹介します！

令和6年度「京都産業大学教育プログラム支援制度」採択結果

「京都産業大学教育プログラム支援制度」は、本学の教育の質向上を目指し、授業科目の開発・運営、正課の授業に係る基礎調査や試行的取組等のFD活動に対する支援を行う制度です。令和6年度は、公募・審査した結果、下記の3つのプログラムが採択されました。

○「令和6年度教育プログラム支援制度」採択プログラム一覧 (申請受付順)

「京都産業大学ハテナソンセミナーの教育成果と発展施策」
生命科学部 佐藤 賢一 教授

「サイバー空間での共同作業を実現するプラットフォーム型教育」
理学部 齊藤 国靖 教授

「ユーザの行動変容を促す疎密制御システムの大規模実証実験」
情報理工学部 棟方 渚 准教授

Contents

p2

〈FD/SD活動の推進〉

- ・令和6年度第1回全学FD/SD研修会
「DXと大学教育－アフターコロナ時代の在り方－」開催

p3

- ・授業アンケートについて
- ・令和6年度新任教員研修会 開催

p4

- ・人と人をつなぐ結び目に！
～グローバルコモンズ学生ボランティアスタッフ「LINK」～
- ・2024年から新たに着任
グローバルコモンズスタッフ2名を紹介します！

DXと大学教育 —アフターコロナ時代の在り方—

講 師：村上 正行 教授（大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部）

令和6年度第1回全学FD/SD研修会

DXと大学教育 —アフターコロナ時代の在り方—

Information Digital

講 師
大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部
村上 正行 教授

2024 5/28 火 16:45-18:15

【場 所】 10401CALL 教室（10号館4階）
【実施方法】 対面×オンライン（Teams）
【申込方法】 事前に申込フォームより申し込みください
<https://forms.office.com/r/gtWRQ4if09>
申込期限：5月23日（木）締切

本学では、DX推進計画が「文部科学省デジタル活用教育高度化事業」に採択され、現在基盤を整えて、さらなるDXの推進に向けて取り組んでいます。そのことから、大阪大学の村上正行先生をお招きし、DXの背景や今後の時代における重要性、実際の導入事例を解説いただき、本学でのDXに対する知識向上と今後の取り組みの参考とする目的で開催します。

京都産業大学
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
603-8555 京都市北区上賀茂本山

教育支援研究開発センター事務局（4号館4階）open 月～金 9:00-16:30
075-705-1729
kyoiku-shien-center@star.kyoto-su.ac.jp

5月28日（火）、教育支援研究開発センター主催「2024（令和6）年度第1回全学FD/SD研修会」を開催し、対面・オンライン等で116名（後日オンデマンド配信を含む）が参加しました。また、今回は、「第2回新任教員研修会」も兼ねて開催しました。

本学では、学修者本位の教育の実現を目指し、様々な取り組みを行っています。

第1回は、「DXと大学教育—アフターコロナ時代の在り方—」をテーマとして、大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部教授の村上 正行 先生を講師にお招きしました。

本研修会では、DXの背景や今後の時代における重要性、大阪大学における実際の導入事例等を解説いただくことで、本学でのDXに対する知識向上と今後の取り組みを進めるための一助とすることを目的に開催しました。

研修会では、小林 満 副学長からの開会挨拶ののち、村上先生からご講演いただきました。

まずは大学における教学マネジメントと教育DXについて、DXの重要ポイント、大阪大学での体制の紹介、教学マネジメント指針等の政策動向と学修成果の可視化に関する大学の現状をご説明いただきました。そこから、大阪大学におけるオンラインを使った授業に関する説明、学生からの評価

や現状、これからの時代に避けることのできない生成AIと授業との関係性にも言及いただきました。最後に、教学IRを含めた大学運営面でのDXについて、大阪大学での取り組みも交えながらご紹介いただきました。



参加した 教職員の声

- ・大学DXを進めるうえで、教職員みなで協力し学生へより良い学びの場を提供できるように進めていく必要があると感じた
- ・DXを推進する上で、ターゲットとする対象に合わせてミクロな視点からマクロな視点までそれぞれの目標を立てて実行に移すべきだと感じた
- ・オンライン講義やオンデマンド講義の利点を活用しながら、学生間、学生教員間のつながりをどううまく作るか、という視点をこれからも考えていきたい

授業アンケートについて

「京都産業大学が提供する教育の質の保証」を目的とし、学生に対してより質の高い教育を行うために、各学期に「教員—学生間の授業に関する対話」、「学習成果実感調査」と呼ばれる2種類の授業アンケートを実施しています。これらのアンケートは学生からの授業やカリキュラムに関する意見を、各科目の授業改善や、学部等のカリキュラム改善に活用しています。

「教員—学生間の授業に関する対話」

各学期の6週目までに授業内容・進め方について学期途中に教員と学生が対話を行い、共によりよい授業を創り出すことを目的に実施しています。

実施方法は、独自フォーマットを用いてmoodleで実施したり、リフレクションシートや口頭で実施したりと、様々な方法があります。

授業の進め方や理解度等について、対話を行うことで、教員・学生がともに授業運営について考える機会となりますので、ぜひご活用ください。

「学習成果実感調査」

令和4年度より新しい調査システムを導入し、学生が回答する際の利便性を図り、令和5年度からは、本調査目的を「授業の到達目標の達成度実感」をはかるものに明確化しました。これに伴い、原則全科目実施へ拡大、調査設問や実施期間の見直し、回答結果を学生が確認できるように変更を行いました。

授業の到達目標の達成度実感をはかることにより、授業科目における改善さらには、教育課程レベルの改善にも活用します。

教員の調査システムについても、結果の経年比較やクロス集計、結果を確認しながらメモを残す機能を実装させ、改善等に役立てられるようにしました。

なお、調査設問には、① 全学統一設問、② 学部独自設問（必要学部のみ）、③ 教員独自設問があります。③は、選択式・記述式で設定できますので、ぜひご活用ください。

本学Webページ：授業アンケート



令和6年度新任教員研修会 開催

4月24日（水）、教育支援研究開発センター主催「2024（令和6）年度第1回新任教員研修会」を開催し、新任教員11名を含む本学教職員22名が参加しました。

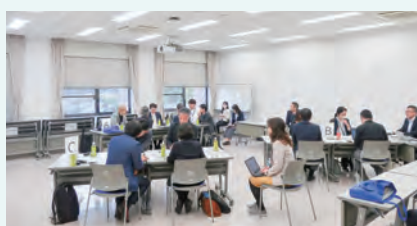
今回の新任教員研修会では、本学の教育の特色や学生の特徴を理解していただくことを目的とし、本学の授業アンケートの一つとして実施している「教員—学生間の授業に関する対話」をテーマに開催しました。

黒坂 光 学長からの開会挨拶では、「学修者本位の教育」の推進を重要視しているため、本研修会を通じて、新任教員が担当する科目レベルでの教育の質保証を実現していただきたい旨等を述べられました。

取り組み説明後はグループに分かれ、「対話」の方法や学生の反応について、ファシリテータ役の運営委員からのアドバイスや、新任教員の質問や悩み等についての活発な意見交換が行われました。

最後は、白鳥副センター長より、「先生方がそれぞれ工夫してオンラインツールを活用されているのを聞き、自分自身も参考になった。有益な情報交換がされていた。」との総括がありました。

参加した新任教員からは、「自分もインターネット上のツールを用いて、或いは口頭や対面で、学生と頻繁に対話をしようと思った」や「先生方のさまざまな取り組みを共有していただき、自身の講義でも参考にしたいと思った」等のコメントが寄せられました。



人と人をつなぐ結び目に！ ～グローバルcommons学生ボランティアスタッフ「LINK」～

グローバルcommons (GC) 学生ボランティアスタッフ「LINK」(略称：LINK) は、2021年4月、「学内でのグローバルマインドの波及」をミッションに掲げ活動を開始しました。学生が主体的に語学力向上や異文化理解に繋がるイベントを企画・実施をすることで、「自分の思いを形にする」という貴重な体験をすることができます。「LINK」は、学生自身が経験し、学び、成長する場となっています。



留学生歓迎イベント「New Exchange Students Welcome Fest」

LINKスタッフに経験・成長したことをインタビュー！



国際関係学部 国際関係学科
中村 真聡 (LINK歴3年)

私は、英語ディスカッションイベント「Discussion in English (DiE)」や留学生向けの日本語イベントを担当しています。DiEでは、日常生活から政治・経済まで様々な話題を取り上げ、留学生を含む参加者でディスカッションを行います。ファシリテーターとして、参加者の語学レベルや興味に合わせたトピックを選ぶのは難しいですが、参加者に学ぶ楽しさと多様な価値観を共有する場を提供できていると実感しています。

最初はイベントの参加者でしたが、先輩の思いを受け継ぎながらイベントを主催することで、多くの仲間ができ、英語のコミュニケーション力やリーダーシップが向上しました。これらの経験から学んだことを次は後輩へ引き継ぎたいです。

Webページ



instagram



2024年から新たに着任 // グローバルcommonsスタッフ2名を紹介します！

ハフマン

アンドレア



2024年4月に着任したハフマン美亜です。グローバルcommonsの学習支援スタッフとして、学生の英語スキルアップを目指したワークショップや個別学習支援を行っています。また、LINKスタッフのイベント企画・運営のサポートもしています。LINKの強みの一つは「周囲を巻き込む力」だと思います。定期開催の言語イベントは、LINKが自分の興味や参加者のニーズをもとに、互いに協力し合って企画・実施しています。同じ興味を持つ参加者との交流が深まり、学習コミュニティの輪が広がっています。また、イベントで仲間に会えることも、毎週続けるモチベーションに繋がっているようです。頑張るLINKスタッフを、今後も温かくサポートしていきたいと思っています。

こんにちは！カナダのビクトリア出身のアンドレア・レーシーです。2024年1月から学習支援スタッフとして勤務しています。グローバルcommonsでは、「Let's Talk!」や「MeetUp@GC」など、リラックスした雰囲気の中で英語を練習できる英会話アクティビティを定期的で開催しています。春学期は、英語ゲームを使ったアクティビティ「英語であそぼ!」も行いました。また、スラングやイディオム、発音に関するワークショップも開催しました。日々、様々な形で学生の英語学習をサポートできるので、とてもやりがいを感じています。

I am excited about creating even more engaging workshops in the future to help students develop a global mindset and improve their English proficiency.

